

## 【九州ぶらり旅】

2007.04.30 - 05.03 H.M

結婚 30 周年の記念に思い出の九州をまわってきた。

2007 年 4 月 30 日 (月)

小山発 7:39 なすの 266 羽田発 10:30 JAL0317

福岡空港にて日産マーチを借りて出発。

**大宰府天満宮** ここは新婚旅行の途中で旧友 U 氏の案内で訪れた思い出の場所。参道には大道芸人なども出て大変な賑わいだった。本殿は鬱蒼とした楠に囲まれ、ご神木の楠は樹齢約 1500 年、根元の周囲は 20m にもなる見事な大木だ。

**柳川市** 鰻料理の老舗『本吉屋』で U 氏ご家族と会食。

U 氏は昔同じ職場にいた登山仲間だ。今はお父様のお店を継いで隣のみやま市に住んでいる。数年前娘さんがロンドンに留学する時に付き添って来て、駐在中の私の所までたずねて来てくれたこともある。鰻料理に舌鼓を打ちながら酒を酌み交わし、昔話に花が咲いた。

ニュー白柳荘(0944-73-1188) 泊

5 月 1 日 (火)

U 氏の案内で舟の川下りと市内の名所巡り。

北原白秋記念館で展示品の中に我が母校校歌の白秋直筆の歌詞を見つけた。



大宰府天満宮



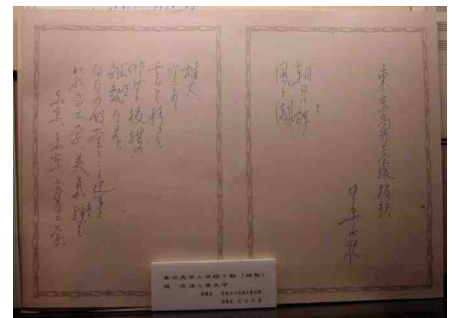
楠の大木



柳川の運河



柳川藩 14 代立花寛治が建てた迎賓館



白秋直筆の母校校歌

天草に向かう途中で熊本城に立ち寄る。城内は築城 400 年のイベントで賑わっていた。

**天草市 栄美屋旅館** (0969-22-3207) 泊

連休の谷間で他に宿泊客は無い。気のよさそうな宿のオバサンがお茶を入れながら長々と世間話をしていった。天草の土地は坪数万円で退職した人がよく買いに来ることや近所のお年寄りがハイハイ学校なる悪徳商法で高い寝具を買わされた、等々。夕食の食卓には今朝水揚げした魚介類が並び、昨夜に続いて酒が進んだ。

5 月 2 日 (水)

天草島原の乱、その後代官として赴任した鈴木重成の苦勞、それから 260 年続いた隠れキリシタンのことなど天草の史跡を見てまわる。



熊本城



天草島原の乱殉教者の千人塚



鈴木重成を祀った鈴木神社とお墓



県道 44 号線で山を越え苓北富岡城跡から大江天主堂と崎津天主堂、そして河浦の天草コレジヨ館を回る。



大江天主堂とマリア像



牛深港に架かる橋

## 天草コレジヨ館

キリシタン大名の使節としてヨーロッパへ渡った四人の少年達の記録と彼らが持ち帰ったグーテンベルグ印刷機や西洋楽器などを見る。特に河浦町と南蛮文化の関わりを紹介するビデオは大変勉強になった。

天草下島南端の牛深からフェリーで蔵之元に渡り川内を経て鹿児島に入る。

## 鹿児島市

夕食を取るため薩摩料理の居酒屋に入る。薩摩白波のストレートを注文したのを見て、同じカウンターで飲んでいたご夫婦の旦那が「おや、通ですね、ま、どうぞ」と自分のボトルをさしだした。聞くと十島の出身で厨房設備メーカーの営業マンだそうだ。あと1年と少しだがまだまだ頑張る、奄美大島にも支店をつくる、...。同じ団塊の世代で話が弾んだ。



市内の居酒屋で

## 鹿児島東急イン 泊

### 5月3日(水) 市内見物

大久保利通生い立ちの地 ~ 城山展望台 ~ 西郷隆盛終焉の地  
巨大な『せごどん』(西郷どん)の横の洞窟の中で西南戦争の記録を見る。  
前の土産物店の一角には幕末維新の志士達の写真や手紙、歴史書などが  
展示されていた。記念に限定版の『激闘田原坂秘録』を1冊買った。  
桜島へのフェリー桟橋に行ったが乗船待ちの車で一杯だった。



せごどんと洞窟

フェリーはあきらめ、加治木から国分へと鹿児島湾の北側を回り、霧島市福山の『くろず』の壺畑を見に行く。海岸まで見渡す限り壺が並んでいる。この壺は信楽焼だそうだ。野ざらしで何年もかけ熟成させる。土産に2年ものを一瓶買う。



壺畑

## 鹿児島空港

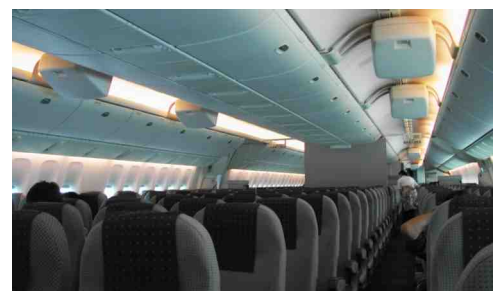
レンタカー営業所に車を返す、総走行距離は 598Km だった。  
空港で昨夜の営業マンお奨めの『徳永屋』のさつま揚げを買う。  
14:35 発 JAC3650 で福岡へ。

福岡発 16:45 JAL0330 4連休初日のせいか羽田便はがら、  
フライトアテンダントの皆さんも手持ち無沙汰のようだった。

東京発 19:40 やまびこ 221 帰宅 20:30

いろいろな人に出会い、美味しい酒を呑み、歴史を学ぶ。

いい記念旅行ができた。



福岡からの機内